

# 新たな目標のもと 安定した経営と更なる成長を 目指してまいります。

株主ならびに投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2018年4月よりスタートいたしました中期経営計画『KENKO Value Action ～価値の創造～』は、当社グループの企業理念である「食を通じて世の中に貢献する。」を改めて実践する事にあります。原点に立ち戻り、食を取り巻く様々な環境の変化にも柔軟に対応し、新たな目標に向けて着実に成果を上げてまいります。



代表取締役社長 炭井考志

## Q 上期業績の振り返りについて お聞かせください

当第2四半期連結累計期間の当社業績は、連結売上高374億円、連結経常利益15億円、親会社株主に帰属する四半期純利益9億円となりました。

販売では、ファストフード向けのソース等が伸長したのをはじめ、麺用の錦糸卵、オムライス用のスクランブルエッグ等がコンビニエンスストアを中心に好調に推移いたしました。

しかし、新工場の立ち上げから軌道に乗せるまでにかかる関連費用の増加や人件費上昇等により、減益となったことに加え、今年は地震や台風、豪雨といった自然災害が特に多発しており、当社におきましても少なからず販売成績に影響がありました。

## Q 中期経営計画「KENKO Value Action ～価値の創造～」の 進捗をお聞かせください

「KENKO Value Action ～価値の創造～」

は、今後様々な外部環境の変化にどのように対応していくかに加え、一企業として社会的責任を果たすため、グループ一丸となり確固たる経営基盤を構築し、事業を成長・発展し続けなければならないと考え、スタートさせました。

そのためにも、もう一度当社の原点ともいべき企業理念である「食を通じて世の中に貢献する。」に立ち戻り、実践することを目指しております。

そのために「KENKO Value Action ～価値の創造～」では、経営の根幹に「CSV経営」を掲げ、**①地域貢献 ②環境・資源 ③サプライチェーン ④ソリューション ⑤働き方**の5つのテーマを定め、社会と企業の双方に価値を生み出す企業活動を全社一丸となって進めております。

年々、消費者のライフスタイルや趣向は、健康・ヘルシー志向の高まりや安全・安心の追求、原材料へのこだわり、インバウンド需要への対応など複雑に変化しています。そのような食を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、お客様のニーズに合わせた商品やメニューを提供することが、当社にはより一層求められるとともに、これは大きなチャンスであるとも考えております。

昨今の外食や中食を中心とした人手不足の深刻化に伴う事業環境の変化に対しては、調理の簡便化を図ることのできる我々のロングライフサラダが更に貢献できると考えております。特に和惣菜ブランド『和彩万菜®️』シリーズは10月に新たな商品「和彩万菜®️冬瓜の桜えび餃」を発売し、ラインナップも年々充実させております。日本には、まだまだ地域に根ざした惣菜がたくさんありますので、そうした各地域の特色ある惣菜の商品化も含めて、商品開発を進めてまいります。

計画を進めておりましたグループ生産拠点構想につきましては、おかげさまで4工場のうち2018年4月にダイエットクック白老新工場が、同年6月に関東ダイエットクック神奈川工場がそれぞれ稼働を開始しております。ダイエットクック白老新工場では、北海道内の食品スーパー向け日配サラダのほか、北海道のじゃがいもを使用した素材系冷凍ポテト・チルドポテトの販売拡大にも注力して



北海道チルドポテト ホール

ます。素材系冷凍ポテト・チルドポテトは、外食業態を中心に需要が高まっており、今後更に成長が期待できる商品だと考えております。関東ダイエットクック神奈川工場は、需要が高まる首都圏の食品スーパー向け日配サラダを製造する工場として新設いたしました。新たな設備や技術も導入し、日配サラダにとどまらず、主食の一品としてもご利用いただけるよう、肉や魚を使用した惣菜も製造してまいります。稼働開始から半年が経過いたしますが、今後も着実に需要を取り込み、当社連結子会社の主力工場として成長・発展させていきたいと考えております。

今年度中には本社工場である静岡富士山工場、西日本工場を加えた4工場全ての新設及び

増設が完了する予定です。それに伴い生産体制の強化、生産能力の平準化を図り、更なる販売拡大や従業員の働き方改善にも積極的に取り組んでまいります。

最後に、以前から継続して進めておりますグローバル企業へ向けた取り組みは、今年度以降もより積極的な姿勢を目指しております。海外への商品輸出では、2018年9月現在で42の国と地域へ輸出先を広げております。世界各国で開催される展示会への積極的な参加や、各国の市場特性を踏まえた商品の拡充、Webサイトを活用した情報発信等による認知度向上に努めたことで年々輸出先も広がり、販路も拡大しておりますので、今後更なる展開を期待しております。

## Q 株主の皆様へのメッセージを お願いいたします

株主の皆様にはいつもご支援賜り誠に感謝申し上げます。

当社は、今年度より新たな中期経営計画「KENKO Value Action ～価値の創造～」を掲げ、企業と社会の双方に価値を生み出すべくスタートを切りました。特に、重要施策と位置付けている4工場の新設、増設を伴うグループ生産拠点構想は、今後も安定した経営と更なる成長・発展を目指す上で、生産体制の強化、生産能力の平準化を図ることを目的の一つとしております。当社として大きな投資とはなりますが、3年後やその先を見据えた大きなステップと考えておりますので、我々の挑戦を長い目で見守っていただければ幸いです。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。